

勝央町

第113号

議会だより

平成21年 8月 1日発行
発行/岡山県勝央町議会

編集/町議会広報編集委員会
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 201 TEL(0868)38-1754



7月9日 議長杯グラウンドゴルフ大会
ナイスショット!!

順位表 おめでとうございます

優勝 青井 寿一さん 打数(49打)
準優勝 神崎 貞夫さん 打数(50打)
第三位 宇治 喬さん 打数(53打)

も
く
じ

- ▶ 第2回定例会議案審議…………… 2 頁
- ▶ 一般質問…………… 3 ～ 6 頁
- ▶ 研修報告…………… 7 頁
- ▶ 特別委員会、請願・陳情 他…………… 8 頁

平成 21 年

第2回 定例会議案審議

会期 6月16日～23日

議 案 内 容

**一般会計補正 2,687万円を追加
総額を 45億2,287万円とする**

主なものは ノースヴィレッジ施設修繕 他

**国保会計補正 921万8千円を追加
総額を 11億4,628万6千円とする**

主なものは 老人保健医療費拠出金 他

**介護保険会計 1,484万5千円を追加
総額を 10億1,567万8千円とする**

主なものは 特定入所者介護予防サービス費 他

専決処分

● 平成21年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正

条例案件

● 町県民税の前納報奨金を廃止するもの

人事案件

● 固定資産評価審査会委員の選任

田 淵 常 由 (黒土)

発 議

一級河川の整備に関する意見書

日頃より、貴職におかれましては、安全で安心に暮らせるまちづくりのため、日夜ご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。
また、安全と安心のまちづくりの一環として、ハザードマップの作成に感謝申し上げますとともに、本町の一級河川であります滝川の改修及び浚渫等の工事を行っていただきありがとうございます。

さて、このたび平成21年4月13日付で地元から河川整備に関する要望書が提出され、本議会の6月定例会で採択したところでございます。本町にあります一級河川は川幅も狭く、土石等が堆積し、草木等の繁殖が著しく見受けられます。雨期等には洪水、氾濫等が予想され、また、景観等が損なわれているところも見受けられます。

以上の趣旨から貴職におかれましては、早急に河川の整備・浚渫等を行っていただくよう強く要請するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出するものです。

平成21年6月22日

(提出先)

岡山県知事

岡山県勝田郡勝央町議会



一般質問

福田 弘 議員

女性特有がん検診推進事業について

町長 我が町もすでに検診を実施している



検診受付風景



問 国の21年度補正予算で、女性特有のがん検診推進事業が行われるようになったと聞いた。乳がん・子宮頸がん無料検診を実施するものか

ようですが、我が町での具体的な実施計画と、現在の受診率は、どの位かお尋ねしたい。

答 町長 検診は女性全員ではなく子宮頸がんの場合、節目節目と言う事で20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の方が、乳がんの場合は、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方が対象という区切

りがある。国の方の経費が1件当たり4,098円の経費を見込んで補助が出るようになっています。愛育委員さん等を通じて申込みを付けております。今後受診についての周知徹底を図り無料になるから是非この際受けて頂くようPR等努めていきたい。ちなみに受診率は、子宮頸がん10・1%、乳がん16・8%です。

クールアース・デーについて

問 温暖化防止運動の一環として、毎年7月7日をクールアース・デーとし、ライトダウン運動等、何らかの温暖化対策を行ってはどうかと思う。町長の考えをお尋ねしたい。

意識の高揚に努める

答 町長 不必要なライトダウン等は当然して、地球温暖化の防止に努める。日頃も当然気を付けていかなければならない。この地球温暖化防止についてライトダウン等の問

経済危機対策について

問 国の21年度補正予算で、1兆円規模の「地域活性化経済危機対策臨時交付金」が決まり、我が町にも、試算で1億3,200万円の臨時交付金がもらえると聞いたが、どのような事業に使用されるのかお尋ねしたい。

6月いっぱいにはそれぞれの事業申請

答 町長 地方単独事業と国庫補助事業、国が負担金として制度的に年々控除的に行う事業のうち何パーセントは、国が持つんだと決められている。新たな事業として国庫補助金を申請する事業については充当してもよろしいよと言うことでございます。もう1点の公共投資臨時交付金はまだ決まっていない。公共施設の太陽光発電等については検討し研究していく必要はあると思います。

国政敏明議員

子育て支援について

健康福祉部
総括参事

アズバイ、ボランティアの皆さんを想ひながら

答 健康福祉部総括参事

問 親子広場「ぽけっと」は、平成16年から健康福祉部とボランティアサークルによる親子広場が開催されています。

現在は「ぽけっと」から「はっぴい」と名前は変わっているが、親の子育ての悩みの解消、子供の生活指導、子供同士の仲間づくり等、事業を展開されている。

大変評判もよく、意義ある活動と思う。

また参加者も多数おられ、今までもいろいろな支援はしているが、もう少し支援出来ないか。

岡山県市町村児童環境づくり基盤整備事業の中の地域子育て支援拠点事業として、子育て家庭の保護者と子供の交流、子育ての不安感を緩和し、子供の健やかな育ちを促進することを目的に、アドバイザー、ボランティアグループ「スクラム」と協同して開いております。

保護者の子育てへの意欲を育てること、仲間づくり、交流を通して、親子関係の構築、子供の自主性、社会性、創造性を養うことなど重要な役割を担っております。

登録者は63家庭、子供78人で、参加者は体験を重ね、良い親子関係が育っている。

施設の整備は必要に応じて修理等を行い、安心安全を第一に集える環境

を整えていきたいと思う。アドバイザーが、この運営に携わってもらえないなら、今まで積み重ねたことが後退する可能性がある。それが一番の懸念であります。

そのためにも、「スクラム」への活動助成金もとより、継続性のある運営のためには、どう支援を行っていったらいいのか十分考えながら、アドバイザーの皆さんの意見を聞きながら、何が必要なのかと云うことに取り組みたいと思う。

問 近年、学校の先生、親の言うことを聞かない子供が増えている。スポーツ少年団の指導者に協力してもらいたい。

青少年健全育成について

健全育成を図ってみてはどうか。

スポーツの指導者にも力になってもらう

答 教育長 教委では学校、警察協働員等々、生

徒指導連絡会と云う組織があり、年6回ほど会議を開いている。

今、一つ学校支援地域本部と云う形のを計画している。

家庭での教育力低下、地域社会の持っている教育力が非常に低下している。その原因は地域社会の持っている連帯感、コミュニティ意識が段々薄くなっている。

地域全体で子供を育てて行くという形を取り上げ、スポーツ指導者の方にも大きな力になってもらいたい。



親子楽しく

日笠善勝議員

津山市の対応は

町長

規模を縮小して設計をする



自然エネルギーの代表的なソーラーパネル



問

津山市を中心とする圏域組合の中で新たに設立される広域ゴミ処理施設に対する津山市の対応がはなはだ納得いかない。

答 町長

美作市と西粟倉が脱退したことによりゴミの量も減るわけで、施設もこれに合わせて縮小する必要がある。また、建設施設関係の

この事業が将来うまく進んでいくのかどうか不安になる。このことについて管理者会の会議の模様を聞きたい。

社保から国保に

問

安心して暮らせる生活に健康保険制度がありますが、昨今の不景気の影響から社保から国保に変えられたケースがどのくらいあるのか。

国保加入者が多い

答 税務住民部参事

社保から国保へ移れる人と逆に国保から社保への割合は定年退職などにより、社保から国保に移る人が多い。

加入状況は19年度は社保から国保へは405人、20年度は368人、逆に国保から社保へはそれぞれ350人

臨時交付金の使途は

問

国からの経済危機対策関係経費として地域活性化に関しての臨時交付金が下りる。細かいことについて採択要綱があるのかどうか。また以前質問した町道堀広線の交通安全施設の整備に充当はできないか。

振り当ては調整中

答 町長

地方への臨時交付金の内、地域活性化公共投資分の割り当てが決まってない。今懸案になっている事業を調整して組み入れたい。公共投資分も割り当てが決まると事業の認可をいただき進めていきたいが優先順位もあることで、堀広線の整備などは用地との兼ね合いもあります。一次改良は一応済んではおりますが交付金の条件に合う形で振り分けを今後していきたい。

木質のバイオ発電の可能性は

問

石油に変わるエネルギーの開発に太陽光発電や風力発電などさまざまな開発がなされており、その中に木質のバイオ発電にも取り組まれている。近いところでは真庭の森林組合が取り組んでいる。

勝央町は林業の盛んな町ではないがCO₂の削減や減量化を考えると、ある程度考慮に入れてみてはどうか。

今後、研究する必要がある

答 町長

石油の代替エネルギーの中で考えられているものですが、真庭市のように山が多い地域では考えられる。

又、暖房を目的にしたストーブ、ボイラーは間伐材や山の掃除でできた木材の利用は山林の活性化につながることであり一部町の公共施設でも利用できないか今後研究する必要がある。

植月 彬議員

介護予防にスポーツの奨励を

町長



多くの方が参加できるスポーツで

問 少子高齢化に伴い介護を要するお年寄りが増えている。

又これらへの費用も増えており、各自自治体とも負担を低減させるべく介護予防に力を入れている。勝央町もそれなりに対策をとっていると思うが、その対策に楽しく行えるものとしてスポーツの奨励を考えてはどうか。例えば今皆さんが楽しんでいるグラウンドゴルフなどもある。

答 町長 介護予防を目的として運動機能アップの教室は開かれているが

楽しんで行うスポーツが結果として健康のためになることになれば、多くの方が参加することが楽しめるように啓蒙しPRをする必要があると思います。

現在グラウンドゴルフの会員は約200名おられて町内で最も大勢の会員を擁し、会員以外の人も楽しんでおられます。このスポーツに限らず健康のために良い思案があれば奨励していきたい。

太陽光発電の設置普及に助成はできないか

問 地球温暖化対策として、自然エネルギーの利用促進を各国が採り入れているが、我が国としても設置への普及に助成を行っている。

岡山県においても助成をしているし、又市や町においても助成をしている市や町がある。勝央町として何らかの助成措置はできないか。

慎重に様子を
見ながら

答 町長 普通の家庭での電気使用量は3・5、4キロワットぐらいで、国が1キロワット当たり7万円、岡山県も同等の補助を行うようにしました。

ただ設置の費用は1キロワットにつき70万円も掛かるのである程度余裕のある家庭が恩恵を受けるのではないかと。不公平感が起きるのではないかと。将来さらに性能の良い発電パネルが開発されるのではないかと。これは慎重に様子をみる必要があると思う。

介護従事者の待遇はどうか

問 介護を必要とする方が増え、それに伴い介護従事者も増やさざるを得ないものと思う。

国としては従事者の不足を補うために外国からの労働力に頼っているいろいろな施設に研修として配置している。

又、長期間の勤続が少なく転職も多いと聞く。勝央町での待遇はどうか。

平均より上では
ないかと

答 町長 町内には数カ所の介護保険の関係の対象になる施設がある。ただ賃金等の待遇面ではプライバシーのこともあり立ち入ることはできないが、問い合わせた段階では全国平均より上ではないかと。

また町内では、外国人が働いている施設はない。国として3%の保険料のアップを行い従事者の待遇改善を図っている。



大勢が参加された議長杯グラウンドゴルフ大会

第13回「全国小さくても輝く 自治体フォーラム」

研 修 報 告

第13回「全国小さくても輝く自治体フォーラム」が三重県朝日町で6月27日、28日の2日間に亘り開催されました。

勝央町議会と奈義町議会は合同で参加して基調講演を聞いたり、分科会に分かれてそれぞれパネラーとの質疑応答があり、まさに密度の濃い研修でした。

以下参加者のアピールの内容です。

地方制度のこれからを議論してきた第29次地方制度調査会が、基礎自治体のあり方などを答申してその任を終えますが、そこでも重大な政策転換が表明されました。全国の町村からのつよい批判を受け、1999（平成11）年以来、政府が強く進めてきた合併推進策の「一区切り」が表明されたのです。しかし一方で答申は、自主的な合併への支援策は引き続き必要だとするとともに、小規模自治体を実施することが困難な事務について、都道府県による補完など「多様な選択肢からの自主選択」の道も考えられるとし、「特例町村」制やいわゆる「西尾私案」を完全に否定することはしませんでした。

今回「フォーラム」で加茂利男先生は道州制について、「府県を中心に動いてきた日本社会を大混乱させるもの」として、二大政党がそろって導入を掲げていることに対して「たいへん不気味」と語るとともに、道州制導入に合わせて合併のメカニズムを再起動させる可能性のあることを示唆されました。この動きについても、私たちは注視していきたいと思います。

今回「フォーラム」では、いわゆる限界集落など、国土の荒廃や伝統文化の喪失が深刻化しているとき、集落から健康と活力をつくり出す取組みを交流し合い、そのためにも町村の役割と自治の力が大きいことを改めて確認しました。私たちは政府に対して、日本列島の山や川、海を守っている町村の役割を訴えるとともに、その役割にふさわしい財源の保障と、全国の町村が直面する農山漁村の高齢化・過疎化に有効な手を打ち、多様で豊かな国土の発展方を打ち出すことを求めます。それこそが、全世界を覆う不況の中で、内需を拡大し安定的な日本の経済を再生させていく確かな道だと信ずるものです。

私たちは、自律分権型予算で地域力を活かして子育て環境の整備を目指してきたここ、三重県朝日町で第13回「全国小さくても輝く自治体フォーラム」を開催しました。小さな町村が自立し、近隣市町村との共同の取組みと全国的な連携を強めていくこと、またその交流と議論の場としての「フォーラム」の重要性を改めて確認しました。私たちは、財政難の中、全国の小規模自治体で奮闘しておられるみなさまとともに、住民の暮らしを守るためこれからも一層の努力を傾けることを誓い合うものです。

最後に、地元朝日町のみなさまに惜しみない拍手と、そしてお礼を申し上げます。



ファーマーズ マーケット ノースヴィレッジ

対策特別委員会活動

ノースヴィレッジが開園してから12年が経ち、今では年間26万人の入場を数えわが町では工業団地と共に目玉ともいうべき施設となっています。

この度、岡山県が財政難を理由にノースヴィレッジの廃止、もしくは譲渡の方針が打ち出されましたが町内から在続にむけて強い要望もあり、議会としても町からの話を受けて対策特別委員会を設け継続の方向で進めることに一致しました。

しかし継続には多額の経費も掛かることであり利用度や費用の関係などから施設の撤去を含め全体規模の縮小の方向で視察を行った。



担当者の説明を聞いているところ



総務産業委員会(陳情に関する現地視察)

請願・陳情

◎羽出川・琵琶首川は川幅も狭く、土石等が堆積し草木等が繁殖し雨期等には、洪水、氾濫等が予想されます。両河川の浚渫をお願い申し上げます。

要望書

提出者 植月北地区長 水島 孝 他5名

◎下町川塩津下地区町道拡幅工事に関する要望

提出者 下町川区長 竹内良介 他2名

議会の動き

◎4月6日

ファーマーズ・マーケットに関する要望の為、県庁に議長 町長

◎4月24日

勝田郡議会議員協議会
役員会が奈義町で開催

出席者 議長他2名

◎5月7日

勝田郡議会議員総会が
奈義町役場で開催

出席者 議長他10名

◎5月13日

市町村総会事務組合議
会議員選挙

出席者 議長

◎5月15日

岡山県市町村振興セン
ター

議長会臨時総会が開催

出席者 議長

◎5月19日・20日

東京メルパルクホール
にて第34回町村議会

議長・副議長研修会

出席者 議長 副議長

編集後記

い。

梅雨に入り
蒸し暑い日が
続いています。
梅雨明けには
よく大雨のお
それがあるが、
災害のない
事をいのりた

昨年から消費が大き
く落ち込みまさに平成
の大不況とも言われて、
さらに新型のインフル
エンザ騒ぎも追い打ち
をかけ不安定な社会情
勢が続いています。

学校は夏休みに入り
子ども達の元気な声が
聞こえてきます。早く
景気も回復して世の中
の立ち直りを期待した
いものです。

暑い夏本番がやって
まいります。くれぐれ
もお体をご自愛いた
だきこの夏を乗り切
っていただきますよう
お見舞い申し上げます。

議会広報編集委員一同